

# 月刊反トマホーク通信

No. 29  
88. 3. 20  
定価 100円

〒150 東京都渋谷区渋谷2-5-9 パル青山502 トマ喰虫社 ☎03(498)6095  
044(63)5101



「韓国教会女性連合」の  
テーブル・クロスから

반전 반핵 평화는  
여성의 힘으로

「反戦・反核・平和は女性の力で」

- 3・6 国際シンポジウム報告
- 資料；韓国—「核」問題に関する公開質問状
- 地域の闘い……熊本 広島 京都

トマホークの配備を許すな！ 全国運動

●維持会員（月間会費）

団体 1日 2000円  
個人 1日 1000円

●参加会員（月間会費）

団体 1日 1000円  
個人 1日 500円

●通信会員

年間 2000円

会費はすべて本紙購読料を含みます

あなたも仲間に！



抱えている対米自由連合協定の問題は、突きつめると民族自立・独立の問題と重なってくる、という指摘があった。「日本と大差のない物価のなかで、自国の産業がほとんどない」という状態は、まさに未だ米国に経済支配された植民地国であることを表わしている。その中で、非核を願う憲法を持った人々が、米国の経済的圧力の下で、基地化を容認せざる

今回初来日の裴辰洙（ペ・ジンス）氏は、韓国教会女性連合のスタッフで、一九七二年以来、未だ二万人余もいる韓国内の被爆者救済に取り組んできた。「広島・長崎の日に反戦・反核をスローガンとしたマダン劇を行った」り、一千人を集めた核問題の公聴会を開

## 韓国の反核運動

フィリピンのカーメンタ氏は、アキノ政権が右傾化しつつある状況と、国内で日常化しているテロの問題、反基地運動の動きなどを報告。特に、フィリピンでの反核運動は、民族独立運動と切り離せない、と強調した。

ベラウの状況は日本ではほとんど報道されないが、米国内では随時大きなニュースになっているという。また、米国の民主グループが、連合協定を暴力と圧力によるものとして訴訟に持ち込む動きが起きていることなどが報告された。

を得なくなってきた。しかも、ベラウへの核持ち込みは、日本の「非核三原則の空洞化」と同じ方法で行われようとしており、明かに日本の影響がある。つまり、ベラウ自体は非核政策を続けながら米国が核を持ち込み、しかし核の存在は明かにしないという方法。ベラウの状況は日本ではほとんど報道されないが、米国内では随時大きなニュースになっているという。また、米国の民主グループが、連合協定を暴力と圧力によるものとして訴訟に持ち込む動きが起きていることなどが報告された。

シンポは午前十一時〜午後八時まで延べ九時間にわたる長帳場だったが、途中二度の食事と一回のティー・タイムの際には、参加者同志が笑顔で話し合う光景が多く見られるなど、和やかな雰囲気。今後予定されている、五月二十九日の横須賀・コモンディット集会や、六月のSSDⅢ（第三回連軍縮特別総会）に向け、新たな動きを予感させて終わった。

この後、会議では米軍の垂直離着陸機飛行場建設が注目された沖縄と、トマホーク艦母港化が焦点の横須賀について、それぞれ代表が状況説明を行った。

僱している。また先ごろ、韓国政府にたいして朝鮮半島の核状況や、各戦争の可能性の有無などを問う公開質問状を送り、文書回答を得たことでも注目されている。（次ページに資料）裴辰洙氏は、種々の資料から韓国には一千万前後の核が配備されていると指摘。通常戦力でも南が、北を上回っており、韓国に核は不要と語った。しかし、韓半島の不安定度は高く、また代理戦争の可能性も強いという。さらに、韓国の反核運動はまだ大衆的なものではなく、西洋型の運動とは異質であるとも語った。同氏はまた、日本の防衛費がGNP一%を突破し、軍事費が突出してきている現状に憂慮を表明した。

僱している。また先ごろ、韓国政府にたいして朝鮮半島の核状況や、各戦争の可能性の有無などを問う公開質問状を送り、文書回答を得たことでも注目されている。（次ページに資料）裴辰洙氏は、種々の資料から韓国には一千万前後の核が配備されていると指摘。通常戦力でも南が、北を上回っており、韓国に核は不要と語った。しかし、韓半島の不安定度は高く、また代理戦争の可能性も強いという。さらに、韓国の反核運動はまだ大衆的なものではなく、西洋型の運動とは異質であるとも語った。同氏はまた、日本の防衛費がGNP一%を突破し、軍事費が突出してきている現状に憂慮を表明した。

## 3・6北西太平洋反核国際シンポジウム報告

# 新しい非核のうねりの高まり



三月六日、東京の文京区民センターで反核共同キャンペーン「ピーススピリット88」核の海を生命の海へ」の行動第一弾「反核国際シンポジウム」が開催された。

当日は韓国、フィリピンの二か国からゲストが参加。国内からは現地首都圏のほか、長崎や広島からも参加者があり、総勢一五〇人が北西太平洋の核状況をテーマに熱心な討論を行った。しかし、ベラウから参加を予定していたピーター・スギヤマ氏は現地の情勢悪化で欠席、またフィリピンからのゲストのエルモ・マナバット氏も病床に入ったため欠席となった。このため、ベラウの状況については「反核バシフィックセンター東京」の荒川氏が、またフィリピン情勢については東京の「フィリピン問題資料センター」代表のカーメンタ・カラグダク氏が各々報告を行った。

会議はまず、「北西太平洋は今」というテーマで、赤道以北の核状況についてのレポートがあった。今や、「アメリカの湖」と化してしまった太平洋、特にソ連に最も近い日本

周辺を頂点として、米ソの確執がいかに凄まじく展開されているか、具体的に核対立の構図を浮かび上がらせながらの報告。この地域の核戦力は海洋配備の核が主力だが、昨年十二月の米ソ首脳会議で全廃が合意されたのは、陸上配備の中距離核だけを対象としていた。このため、実質的な核軍縮という意味では、北西太平洋がひとり取り残されている。逆に、海洋発射中距離核である「トマホーク」を積んだ新鋭艦二隻の横須賀母港化や、最新中距離核ミサイルSSBNX21（射程三〇〇〇Km）のソ連極東配備などが今後予想され、一掃の核軍縮が進もうとしている。

## ベラウとフィリピン

続いてはベラウの情勢報告と討論。同国が

# 資料 市民には韓国の核問題について 知る権利があるはずだ

(表題は編集部)

韓国教会女性連合など四団体の公開質問状

## 編集部注

韓国教会女性連合など四団体による、対政府公開質問状と国防部からの回答の全文である。翻訳のテキストとして用いたのは米国の民間研究団体「ノーチラス」のピーター・ヘイズ氏から「海の軍備撤廃を！太平洋運動」を経て送られてきた英文訳である。文中、「韓半島」「北韓」といった表現は韓国での表現にならった。なお、この公開質問に対しては民主正義党（与党）からも短い回答がなされていることをつけ加えておきたい。

(訳 田巻一彦)

## 公開質問状

韓半島を愛する私達愛国的市民達は、韓国をおおむね戦争雰囲気から不気味に沸きあがる危機を感じています。海外の報道で、第二次朝鮮戦争では核が使用されるだろうということを聞くにつけ、私たちが思い起こすのは、あのいまわしいヒロシマ、ナガサキの一九四五年のことです。

それゆえに、私たち下記団体は連名で政府当局に対して、韓国における核の問題に関して公開の質問を発するものです。私たちが知りたいのは政府の公式見解です。海外では報道されているこの種の情報が高度の国家保安上の秘密であるとは考えられません。私たち

市民にはこれ等のことがらを知る権利があります。一九八七年八月八日（ナガサキ・デー）までに誠実な回答がなされるよう要求します。

第一に、韓半島における核配備の最新の情報を求めます。海外での報道によれば、韓国にはほぼ一〇〇〇の核兵器が配備されているとされています。それらは核地雷、核リュック、核砲弾、核ミサイル、中性子爆弾などです。この報道内容を検証しうるいつわりのない事実を要求します。

第二に韓半島に核兵器を導入することが本当に必要なのかをお尋ねしたく思います。韓国には北韓に対する防衛のためには十分な核兵器があります。私たちは、なぜ西ヨーロッパの人々が強く反対している核兵器を我が国に配備しなければならないのでしょうか？

第三に、韓国において核の使用についての最終的な決定権を持っているのは誰なのでしょう。韓国軍は韓米合同司令部の指揮下にあるため、核を配備している米軍が核使用を一方的に決定する立場にあるのでしょうか？核使用の意思は、米軍から韓国に対して何日前に告知されることになっているのでしょうか？

第四に、韓国で核戦争がおこる可能性はどれほどのものなのでしょうか？報道によれば、韓半島は依然として、最も熱い核戦争の発火点であるとされています。また、米軍の「水平エスカレーション」戦略によって、その危険性はますます切迫しているとも伝えられています。政府の公式見解をお聞かせ下さい。

第五に、もし韓国で核戦争がおこった場合、どのような安全策があるのでしょうか？政府の計画の趣旨と、国民向けの民間防衛の施策はどのようなものでしょうか。これらの施策について、政府は国民に対してどのような教育を行っているのでしょうか？

韓国教会女性連合  
YMCA青年科学技術協議会  
汚染追放のための青年協議会  
「カム・チュン」科学技術委員会

## 質問状への回答

韓国教会女性連合会長殿

民族と国家の永遠の平和のために貴団体が払われている努力に敬意を表します。

国防部長官は、韓半島における核問題は死活的な課題であると考えており、現在、慎重に対応を立案中であります。

一九七五年四月二十三日、韓国政府は核拡散防止条約の八十六番目の正式加入国になり

ました。同条約は非核保有国の核兵器受け入れと開発の禁止、核施設に対する国際的査察実施の承認、核保有国印印国間での核削減交渉の誠意ある実行、などを主たる内容としています。お挙げになった海外での報道に反して、韓国の核開発は核兵器の開発とは全く無縁のものであり、全面的に経済成長のみを目的としたものです。ほかならぬ北韓こそ核兵器製造能力を有する国の一つに名を挙げられています。

韓国は、核保有国ではありませんので、核政策について論評する立場にありません。しかし、わが国は原則的に大國による核兵器削減あるいは廃棄政策に賛成しています。韓民族全体の繁栄と生命のために、韓半島における核軍拡競争と核戦争を回避するために政府はあらゆる可能な努力を払うことを、ここにはっきりと表明します。

この目的を達成するために、政府は軍事、外交活動を通して、全力を挙げて民族全体を防衛するという姿勢をもって最善の努力を払っております。

「指揮および管制に関して」韓米合同司令部は、二指揮とは異なり、一方的あるいは全面的な指揮・管制権を行使してはおりません。韓米合同司令部司令官は両国の軍最高司令

官および韓米軍事委員会（一九七八年設置）における合意に従って行動します。

さらに、我が国の軍事戦略は韓米二国間の条約に従った、平等かつ相互的な基盤の上に実行されていることを、これを機に疑問の余地なく明らかにしたいと思います。

貴団体の愛国的配慮に、あらためて感謝と敬意を表します。貴団体の末永いご繁栄と栄光をお祈り申し上げます。

一九八七年九月

国防合同参謀司令部  
戦略企画部長

ヨン・ヨニル



わたしの非核地帯

YWCA

## えびの 反VLFで 交流会と集会

くまもと市民センター

神田 公司

三月五日、宮崎県えびの市で反基地九州交流集会、六日には「三・六VLF通信基地建設反対九州総決起集会」(両方とも反VLF九州実行委員会が主催)が開催されました。五日の反基地九州交流集会には地元宮崎をはじめ九州各地から反基地運動を担う総評、社会党の活動家が一二〇人集まりました。

主催者の挨拶の後、全体で三つのグループに分れ討論が行われました。この中で、主な意見を拾ってみると、異口同音に出されたのが日常生活で自治会・PTAなどに積極的に関与しているということです。また、労働組合が「連合」へと向かっていく現在、総評の反戦・平和の闘いをどう継承させていくのか、という意見が多く出されました。

地域別では、佐世保地区から、ファイフ・バンカーヒルの横須賀配備が行われようと

している中で、同様に強化される佐世保での闘いの報告と、九州での反基地交流集会を毎年開催すべきだという意見がだされました。地元えびの地区からは防衛施設局がえびの市に約束した見返りが殆どなく、保守の側からも不満の声が上がっていることが報告されました。

約五時間の交流集会は残念ながら、今後の九州における闘いをどうつくるかという議論にはなりませんでした。



しかし、参加者の多くが地域で基地を抱え格闘しており、「いま大切なのは、連合するしない」ということの前に、九州での軍事化に對し、どういう反基地の運動を作り出すかということだ」という意見は参加者の多くの気持ちを現したものです。

六日の総決起集会は午後一時より川内河川敷で約一万人の参加で行われました。集会のメインは社会党の土井委員長の講演で、土井さんは「九州をアメリカの最先端基地にしてはならない。憲法九条のいかなる武器も保有しないという平和主義に自信を持ち、VLF建設を阻止しよう」と訴えました。

この集会には、三宅島、逗子のほか、ニュージーランドのオーウェンウィルクス氏、オーストラリアのPNDからも連帯のメッセージが届き、紹介されました。

八日、福岡防衛施設局はえびのVLF送信所を四月に着工することを明らかにしました。(新聞記事を参考にしてください)

五日夜、佐世保軍事問題研究会の佐々木竹一さんを囲み、福岡・熊本・鹿児島でさやかな交流会を持ち、①四月から反基地の交流誌を反トマ(九州)から二ヶ月ごとに発行する ②六月鹿児島でVLF・P3C・象のオリを中心にして学習会を開く事を決めました。ご期待下さい。

## 福岡防衛施設局 月末に発注の方針

福岡防衛施設局は八日、宮崎県えびの市で反基地九州交流集会、六日には「三・六VLF通信基地建設反対九州総決起集会」(両方とも反VLF九州実行委員会が主催)が開催されました。五日の反基地九州交流集会には地元宮崎をはじめ九州各地から反基地運動を担う総評、社会党の活動家が一二〇人集まりました。

主催者の挨拶の後、全体で三つのグループに分れ討論が行われました。この中で、主な意見を拾ってみると、異口同音に出されたのが日常生活で自治会・PTAなどに積極的に関与しているということです。また、労働組合が「連合」へと向かっていく現在、総評の反戦・平和の闘いをどう継承させていくのか、という意見が多く出されました。

地域別では、佐世保地区から、ファイフ・バンカーヒルの横須賀配備が行われようと

朝日新聞  
3/9

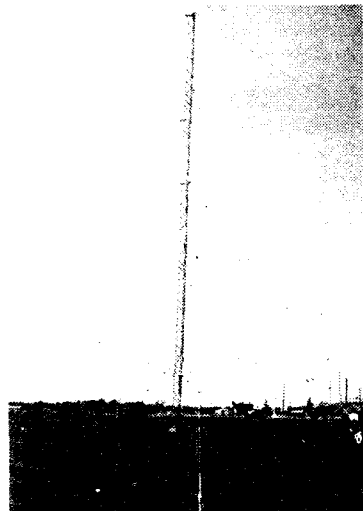
これに対し、VLF通信基地建設反対九州実行委員会(九州各県市や社会党本部で構成、委員長・馬場代義士)は六日、約一万五千人を動員し、総決起集会を開いたばかりで、反対運動はさらに盛り上がりそうだ。

## 基地強化の動きだ

市民グループ 知事らに抗議を要請

横須賀市瀬谷区の米軍上瀬谷通信施設で、新たに短波通信用のアンテナが増設されたことが分り、地元の住民らによる「瀬谷基地はいらないワド」(八木崎真知子代表)は十四日、基地機能の強化の動きだとして、長洲知事と横須賀市長に米軍への抗議とアンテナ増設の目的などの調査を求める文書を提出した。

このアンテナは同施設東側の畑(敷地約二ヘクタール)に、約二カ月の基礎工事の後、先月末に完成。鉄塔の高さは約四十五メートルで、これと同じ施設ではなかったタイプだが、短波通信用の「330型LPアンテナ」と呼ばれる。短波通信用の「330型LPアンテナ」と呼ばれる。短波通信用の「330型LPアンテナ」と呼ばれる。



上瀬谷通信施設に新たに立てられた「330型LPアンテナ」

神奈川新聞  
3/25

海軍通信隊の管理下にあり、電波受信機として使用されている。一四四二平方メートルの敷地に多数のアンテナが林立。西太平洋からインド洋に展開する米軍艦艇、航空機などとの通信電波を受信している。一昨年には衛星通信用のヘリカルアンテナ増設、昨年はLPアンテナ増設などの動きがある。

なんとしても止めよう

# ヒロシマの核の発射基地化

—ピーススピリット88広島行動—

湯淺一郎

(トマホークの配備を許すな！呉市民の会)

いよいよブリス・スピリット88が始まった。チーム・スピリットに対抗するものとして、海洋INFの全廃を求め、核の海から生命の海へをスローガンとしたこの行動は、本当にタイミングの良い企画だ。しかし現実を見ると横須賀、神奈川を中心とした首都圏の運動以上の拡がりについては、まだこれからという感じが強い。

そこで私たちは、全国的な呼び掛けに呼応しつつ、広島のみわりの主体的な行動をおこそうと一月下旬、ピーススピリット88広島実行委員会の結成を呼びかけた。被爆地としてトマホーク艦の日本配備を止めさせようという世論を何としてもつくりたい。特にファイフ、バンカーヒルが横須賀を母港にすれば、

この二隻は確実に呉にくるはずで、被爆県内の町・呉を核の発射基地にさせないという具体的なテーマを掲げてピーススピリット88広島行動を行おうというわけである。サブタイトルルの「核の海から生命の海へ」も私たちの生活する広島湾や瀬戸内海を対象として、すでに核にまみれている瀬戸内海から核をしめだそうというスローガンを掲げている。

八十六年八月の駆逐艦メリルに象徴されるように軍港員には核艦船が出入りする。艦船は豊後水道、伊予灘を通過して、大島瀬戸、広島湾を経て呉へ至る航路を動くはずで、その航路筋は核の通り道になっている。また別府松山、江田島といった民間港にも核艦船はきており、特に別府は回数が多い。湯の町・別

府に核が浮かんでいるのである。

そして出力調整実験で一躍有名になった伊方原発が動き、そこへの核燃料輸送や使用済み燃料の搬送が行われている。瀬戸内は放射能汚染となりあわせの状態にある。ピーススピリットはこの海から核をしめだすキャンペーンの出発点である。

この行動には県内の23団体が参加し、二月にはこの連名で、広島県、広島市、呉市に対し、ファイフ、バンカーヒルの横須賀配備に反対するよう申し入れを行った。その結果、どの自治体もこの問題についてはほとんど関心の外にあり、何も知らないというそらおそろしい実態が明らかとなった。中でもひどかったのは、最も当事者に近いはずの呉市であった。事実認識について問うと、ファイフの新聞記事を見ただけで、『他の詳しい内容は今この申し入れ文で初めて知った』という調子で、この時点で呉市は横須賀市に問いあわせすらしていなかった。そして申し入れに對しては、例によって、『こういう問題は国の専管事項なので（自治体としては何もいえない）』の一転張で、自治体として市民の疑惑にこたえようとする姿勢はひとかけらもなかった。

私たちが計画している行動は次の通り。

(1) 被爆地の自治体としてファイフ、バン

京都

ビキニでデモ

一人一人の叫びが  
仲間をよぶ

茶谷樓香里

(トマホーク阻止京都連絡会)

一九五四年三月一日、ビキニ環礁におけるアメリカの水爆実験によって、漁船第五福竜丸が被災し、乗組員の久保山愛吉さんが殺された。トマホーク阻止京都連絡会では昨年十一月二十九日にガイドライン安保と闘う集会を持ち、三月一日にもそれを引きつぐ形で反安保の集会を持ちたいと3・1ビキニデー集

会実行委員会を形成し、参加を呼びかけた。

市の中心部を流れる鴨川の河原に陣取り、小雨の中約二十名が参加し、「反原発めだかの学校」「泉州沖に空港を作らせない住民連絡会」「韓国青年同盟」など各団体が次々とマイクをとってアピールした。

一時間の集会のあと夜の繁華街をデモし、円山公園へと向かった。通行人の反応は無関心そのものだったが、それでも元氣よくデモコールを繰返し、核廃絶、反基地、反安保を訴えながら街をねり歩く。一行円山公園へ到着。そこで集会宣言が読み上げられ、途中コップ酒を汲み交わしながら参加者全員がマイクの前に立ち、集会の感想や各人の近況、アピールを述べあう。和やかな雰囲気ながらもこれからの決意が感じられるアピールが続き、参加者全員活気づいて集会を終えた。

現在日本は、「核戦争に戦って勝つ」ため

(4) リムパックへの呉自衛隊の参加に反対する行動。四月中旬。

(5) 五月五日、岩国基地公開日に、万規模の市内情宣活動。

● ● ●

とにかく一人でも二人でも多くの人が声を上げることに全力を注ぎたい。四年前の今頃

トマホークの配備を直前にして、いてもたってもいられない気持ちで、なんとかせねば！と立ち上がった時の初心にもどつて、一つ一つの行動を積み重ねていこうと考えている。このキャンペーンの中で新たな人のつながりができ、主体が登場してくるような取りくみを目指したいものです。

には地球の破滅も辞さないというレーガン戦略の一翼をにない、対ソ核戦争計画の最前線を担う基地として機能している。

核トマホークを搭載した駆逐艦ファイフ、イージス艦バンカーヒルの横須賀母港化を受け入れ、三宅島でのNLP基地、逗子の米軍住宅、沖縄のハリアー訓練基地など米軍基地建设を強行。こうした基地を維持するために金は日本が負担し、そればかりか農産物の自由化を約束し、日本の農業も農民もどうなつてもかまわないという選択をした。

竹下首相の言う「世界に貢献する日本」とは、このように安保のもとで私たちの生活する場を奪いながら、西側自由世界防衛のためと称して民衆への犠牲を強要し、アメリカの戦略を全面的に支えることである。

三月末からは“チームスピリット八八米韓合同演習”が、日本を出撃基地として行われ



ファイブ・バンカーヒルの

スタート

核艦船の  
日本への入港を  
とめたい  
と思う

いいえ

外国の軍隊が  
日本を  
攻めてくる  
と思う

はい

最近の  
世の中  
おかしい  
思っている

いいえ

生活は  
中流だ  
と思う

はい

家には  
電話が  
ない

いいえ

私は  
楽天的な  
ほうだ

はい

話し  
なほ

いいえ

リーフレット  
一部20円 100部以上  
10円

ために  
ること

臣、神奈川県知事、  
連八ガキ”ができる  
最もてっとり早  
さい。1枚40円、  
行なわれています。  
の1000万人署名。  
(SSDⅢ)にむけ  
ているもの。

東京都港区北赤坂1-10-5  
アメリカ合衆国大使館 気付  
R・レーガン大統領 謹

4連ハガキ  
1枚40円  
10枚以上  
30円

ヨコスカを  
トマホーク艦の  
母港に  
するな!!

ヨコスカを  
トナー・クレーの

東京都千代田区霞が関2-2-1  
外務省 内  
外務大臣  
宇野宗佑様

●トマホーク艦の母港化をとめるために  
**私たちが用意していること**

1. ハガキ作戦  
レーガン米大統領、外務大臣、神奈川県知事、横須賀市長の4人に出す「四連ハガキ」ができています。反対の声を集める最もてっとり早い方法です。至急広めて下さい。1枚40円、10枚以上30円。
2. 署名運動  
現在、ふたつの署名運動が行なわれています。  
①国会請願、政府・国連への1000万人署名。  
「第3回国連軍縮特別総会(SSDIII)にむけて行動する会」で呼びかけているもの。  
②神奈川県知事、横須賀市長への100万人署名。  
「横須賀をトマホーク艦の母港にさせない県民運動」で呼びかけているもの。  
どちらも、トマ喰い虫社でとり扱っています。
3. 出前学習会  
どんな小さな集まりでも、トマホーク艦の母港化を考える学習会を開いて下さい。スライドをもって出前出張をいたします。
4. 5月29日(日) 横須賀へ  
この日、みんなこそって横須賀に集まり、市民の反対の意思表示をする日にしたいと思います。詳しくは、トマ喰い虫社まで。
5. 反核ホットライン  
横須賀と佐世保にトマホーク疑惑艦が入港したときに、そのつどハガキを出す連絡網ができています。1年間の会費は2000円。東京か560km圏では、プッシュホンで毎日の原子力艦の入港状況が聞けるテレホン・サービスもなっています。プッシュホンならば、公衆電話でもきけます。まず、#をおす。次に8301、テープの声で連絡番号はと聞かれたら(968)1071、次に暗誦番号はと聞かれたら(イレナイ)1071。おおむね午前10時〜午後6時に使えます。

## 横須賀母港化にストップを

署名運動に全力を

參議院議長  
內閣總理大臣  
國庫事務總長

$\frac{E^2}{\sigma^2}$ mm	$\frac{E^2}{\sigma^2}$ cm	$\frac{E^2}{\sigma^2}$ mm	$\frac{E^2}{\sigma^2}$ cm
------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------

核兵器の非合法化、海洋—N F全廃、  
トマホーク艦（バンカーヒル）の日本母港化拒否などを  
求める国会請願、日本政府、国連への要請

[illegible]

ホーク艦の横須賀母港化に  
反対してください

神奈川縣及事關橫山二殿  
橫濱實業界是橫山と夫殿  
「様のない神奈川と」世界を」  
四年間、非様三原則を果是とすとうたつた「神奈川」  
意が、今大きな試練を迎へる事になつては、きつと知る  
ることと思ふ。横濱貿易長官としての、なおさ  
ま海軍は、一隻のトマリヲ格殺殿、駆逐艦フアラフ  
母港として配備すると発表しました。いづれも垂直射撃  
米議会に出される資料によれば、アイフは四十五発、  
殺すことができています。しかも、それらは横濱頭付、  
マホーク、発は広型原爆、一丁詰の威力を持つていま  
くは、「〇六五のロシヤ」を、現出させる威力を持つて  
絶する核兵器を積んだ軍艦が横濱を母港にするといふ  
くの国民が安んずを察せられています。  
米ソ首脳会談の合意によつて、NDP（中距離核戦力）  
洋にNDPである核トマホークの発射基地がこの機会に時  
逆らつたような事態をどうし、受け入れられることよ  
「米日通商及事前協議の申し入れがない以上、様の持る  
る必要はない」という日本政府。一様の存在は肯定も否定  
たつて置かれて、一様疑念の、時間は深まり、広がら  
いて私たちがどうして「様の有無」を知ることができ  
よつて、その時ではもう取り返しがありません。知事  
であれば、私たちのとるべき態度はこうなるでしょう。  
を形で証明されない限り「様は有る」と判断する。その判  
断は、戻ります。アイフとアイフが、これは横濱頭付と

る。「日本の協力なくしては、韓国強化も対ソ作戦支援の十分な基地も見つけることもできない」（クロウ統合参謀本部議長）という発言通り、アメリカの世界戦略の最高のパートナーとなっている現実には、「西側自由世界の支配から離脱しようとするアジア・第三世

今、日本の日本は、このような現実がとても見えにくい。一抹の終末感を感じている人は多いものの、それが何なのかを見極める人は少ない。だからこそ、少人数でもこういう集会を

持ち、繰返し訴えていくことが大切だ。声を大にして、おかしいことはおかしいと叫びたい。一人一人の叫びが、仲間を呼び、大きなうねりとなるよう、3・1集会を踏み台として更なるステップへと続けたい。

# 会計報告

(88・2.15-3.17)

## 〔収入〕

○前月からの繰り越し  $\Delta 517,856$

経常繰越  $\Delta 91,856$

借入金繰越  $\Delta 426,000$

○会費収入 54,500

維持団体 29,000

維持個人 8,000

参加団体 0

参加個人 5,500

通信会費 12,000

○カンパ 62,000

○在庫売上 24,600

(計)  $\Delta 376,756$

## 〔支出〕

●家賃 40,000

●電話代 8,550

●郵送費 48,920

●文具代 9,200

●印刷代 32,485

●会場費 4,800

●行動費 3,000

●手数料 740

●次月への繰越  $\Delta 524,451$

経常繰越  $\Delta 98,451$

借入金繰越  $\Delta 426,000$

(計)  $\Delta 376,756$

\* 編集 反トマホーク通信編集委員会  
\* 定価 一〇〇円 (通信会員年間二〇〇〇円)

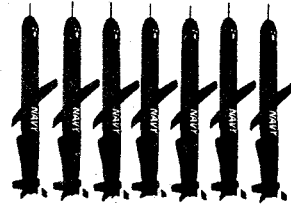
〇三(四九八)六〇九五  
〇四(六三)五一〇一

〒一五〇東京都渋谷区渋谷一五九パル  
青山五〇二 トマ喰い虫社

\* 発行 トマホークの配備を許すな全国運動  
一九八八年三月二〇日発行

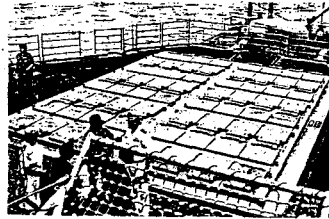
月刊反トマホーク通信 No 29

トマホーク



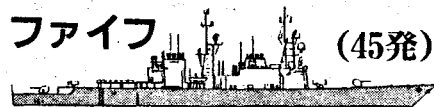
を

垂直発射管



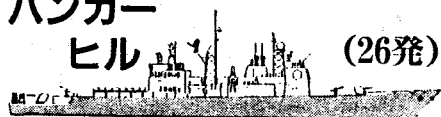
に入れた

ファイブ (45発)



と

バンカー  
ヒル (26発)



が

ヨコスカ



を

今年88年、

母港にしようとしている!

運動にとって正念場なのに  
財政が大ピンチです……

——急いで会費を、そしてカンパを!